

BESPOKE & CUSTOM TAILORING

スラックスを「サイドアジャスター」に するべき理由と完全ガイド

ベルトレスが叶える、クラシックな気品と抜群の快適性

CHAPTER 01

サイドアジャスターの基本

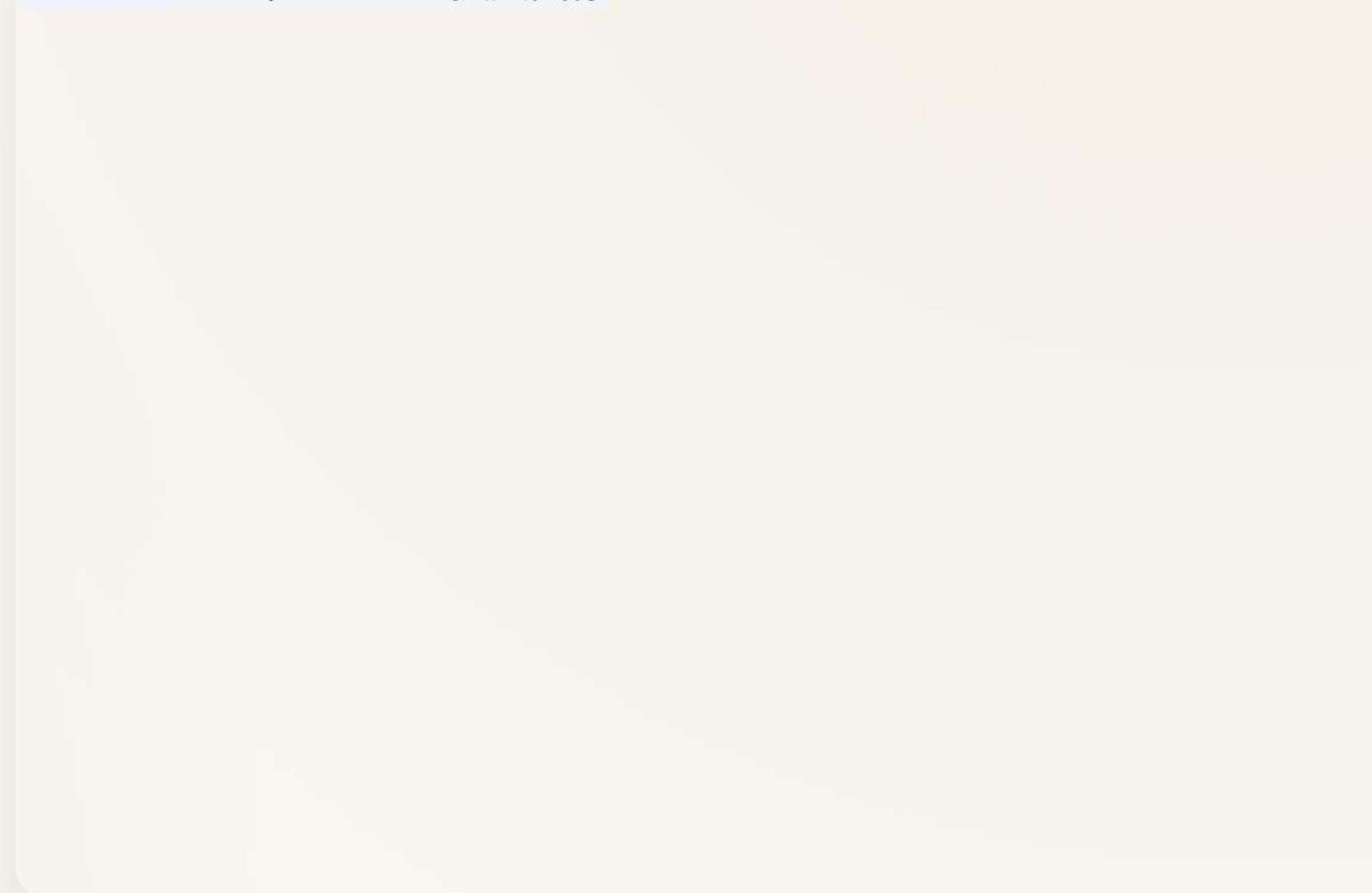
ベルトを必要としない「ベルトレス仕様」の構造とクラシック回帰の背景

サイドアジャスターとは？

ウエスト両脇でフィット感を微調整するベルトレス機構

- ✓ **ベルト不要の美学：** ベルトループを排除し、腰回りをすっきり見せる伝統的ディテール。
- ✓ **英国紳士服の歴史：** 本来スラックスはサスペンダーで吊るか、腰骨で固定して穿くのが正統。
- ✓ **クラシック回帰：** 股上が深いトラウザーズの流行に伴い、現代スーツでも再注目。

 サイドアジャスターの拡大画像



サイドアジャスターの主要3タイプ



バックル式（尾錠型）

金属製バックルと共地ストラップで調整する最も王道なタイプ。無段階でミリ単位のフィット感微調整が可能。



ボタン留めタブ式

ウエスト脇の複数のボタンでタブを留め変える仕様。金属パーツが見えず、ミニマルで落ち着いた高級感を演出。



エラスティック内蔵型

帯内部にゴムを仕込んだ伸縮構造。食後や体勢変化に自動追従し、ストレスフリーな着心地を実現。

CHAPTER 02

6つのメリット

なぜ既制服のベルト仕様ではなくサイドアジャスターを選ぶのか

メリット：美しさ・フィット感・耐久性



脚長効果と美しいシルエット：

腰回りを横断するベルトが存在しないため、靴先から胸元まで縦ラインが遮られず、スタイルが良く見えます。

ウエスト位置が固定され下がらない：

腰骨の正位置に合わせて仕立てるため、一日の着用を通してパンツのクリーンスや丈感が崩れません。



スラックス生地 of 擦れ・劣化を防止：

革ベルトによる摩擦でループやウエスト部分が傷むトラブルが根本からなくなります。

メリット：実用性・利便性・オーダー感



コーディネートの手間削減

「靴とベルトの色を揃える」ルールが不要に。朝の身支度が短縮されスタイリングが洗練されます。



その場でサイズ調整可能

むくみや食後の満腹感に合わせて、指先ひとつで左右のテンションを緩められます。



圧倒的なビスポーク感

量販店では手に入らない仕立てが、「自分の身体に合わせて作ったスーツ」である証になります。

CHAPTER 03

デメリットと注意点

失敗しないためのフィッティングとTPOの知識

知っておくべき懸念点と解決策

1. 初期フィッティングの精度

懸念： ベルトで強く締め上げることができないため、オーダー時のサイズ採寸が極めて重要。

対策： 採寸時に「緩すぎずキツすぎないジャストフィット」をテーラーに明確に伝えます。

2. 一部フォーマルでのTPO

懸念： 超厳格なマナーを重視する場面で「ベルトなし＝不完全」と誤解される場合がある。

対策： 本来はサイドアジャスターの方が正統なクラシック仕様であることを認識して着用。

相性の良いクラシックディテール

- + **ロング持ち出し（ウエスマン）**：天狗を長く伸ばしボタンを隠す比翼で、前カンを見せずフラットに仕上げる。
- + **1~2プリーツ（タック）**：腰回りに立体感とゆとりを生み出し、サイドアジャスターの品格を引き立てる。
- + **サスペンダーボタン併設**：内側にボタンを付けることで、気分や場面に応じてサスペンダーも使える2WAY仕様に。



テーラーでの注文チェックリスト

100%

理想のフィット感

オーダー時に伝えるべき4ステップ：

- ✓ 「ベルトレスでサイドアジャスター仕様」を希望
- ✓ 股上は「やや深め（ハイライズ）」に設定
- ✓ 帯幅はやや太めの「4.0cm～4.5cm」に指定
- ✓ 内側に「サスペンダー用ボタン」も追加依頼

本物のエレガンスを

サイドアジャスターで、一歩先に行く美しいスーツスタイルを手に入れましょう。

 仕立てのこだわりで、日々の着こなしに自信と気品を

Image Sources



<https://zeve.com.my/cdn/shop/files/Closeup-Black-Side-Adjusters.jpg?v=1779181922&width=2700>

Source: zeve.com.my



<https://luxurylondon.co.uk/wp-content/uploads/2023/12/Henry-Poole-Savile-Row-hero-2.jpg>

Source: luxurylondon.co.uk